

寝屋川市立中央図書館  
NEYAGAWA CITY LIBRARY



# 図書館探検 & 市長と若者トーク会 報告書





## はじめに

寝屋川市ではシルバー世代を始めとした様々な市民のサービスを維持するために、担税力のある子育て世代に「選ばれるまち」となるよう、多くの取組を急ピッチで進めています。

寝屋川市でしか学ぶことのできないディベート教育を中心とした「寝屋川教育」や、全国から注目をされている「いじめ対策」、また、寝屋川市駅前に移転オープンした新しいコンセプトの図書館は、多くの市民の皆さんから喜びの声をいただいています。



今般、高校生・大学生等を対象とした「若者トーク会」を開催し、まちづくりに対する若者視点の意見を直接お聴きし、忌憚なく意見交換を行いました。

今回のトーク会では、9人の方に御参加いただき、市の将来のビジョンを説明させていただく中で、市に対する気づきやよりよいまちづくりに向けた様々な御意見をいただきましたこと、感謝申し上げます。

引き続き、本市ならではの強みや独自性を創出することで、市民の皆様の誇りと市外からの憧れを醸成し、「選ばれるまち」への成長を加速してまいりますので、市民の皆さんの御理解と御協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和6年2月

寝屋川市長 **広瀬慶輔**

# 目 次

I	開催概要 .....	1
1.	目的 .....	2
2.	開催日程・参加人数等 .....	2
3.	参加対象者 .....	2
4.	頂いた御意見の活用 .....	2
5.	市長からの寝屋川市の現状等の説明(冒頭説明) .....	3
II	意見交換の内容 .....	4
III	参加者アンケート結果 .....	12

# I 開催概要

---

## 1 目的

高校生・大学生等と市長が直接対話をする機会を設け、若者ならではの市に対する率直な意見、課題等を把握し、ニーズに即した施策・事業を展開するとともに、自分自身がまちづくりに関わっていると感じてもらうため、若者トーク会を実施した。

## 2 開催日程・参加人数等

開催日時・場所	参加者	参加人数・合計	
寝屋川市立中央図書館 (令和5年12月18日開催)	高校生	4人	9人
	大学生	5人	

※ 開催時間は午後6時から1時間程度

※ 当日は参加者に寝屋川市ガイドブック「寝屋川移住計画」「PIAZZAチラシ」を配布

※ トーク会終了後、希望者を対象に図書館内を自由に散策する「図書館探検」を実施

## 3 参加対象者

寝屋川市内在住の高校生・大学生等

※ 同行者は市外在住も可

## 4 頂いた御意見の活用

トーク会で頂いた御意見については、庁内で共有し、今後の施策・事業を進める上での参考とする。

## 5 市長から寝屋川市の現状等の説明(冒頭説明)

寝屋川市は、他市と比べてシルバー世代の人口割合が高いため、担税力のある若い子育て世代を誘引することで、様々なサービスを維持していく必要があると考えている。

担税力のある若い子育て世代に寝屋川市を選んでもらうために、ソフト面の様々な取組やハード面のまちづくりについて、スピード感を持って進めている。

ソフト面の施策として、教育改革やいじめ問題等の様々な取組を進め、全国から注目され、これまで人口が転出超過であったが、令和3年には9年ぶりに転入超過となった。自然人口の減少は行政として対応は難しいが、転出超過から、転入超過へ改善することは行政のミッションだと考えている。

また、ハード面の施策として、市民を「動かさない・待たせない」をテーマに市民サービスのターミナル化を進めている。現在、市民が利用する公共施設は分散されており、手続きに応じて、市民に移動をしてもらう必要があるが、多くの市民が利用するサービスを市の中心へ集約させていく予定としている。

例えば、中央図書館は、元々総合センター内にあったが、平成30年に発生した大阪北部地震の影響で使用ができなくなり、令和3年に現在の場所へ移転をしたほか、同じ建物内のアドバンスねやがわ1号館(5階)についても、生涯学習機能を持った施設の開設を予定している。また、旧電気通信大学駅前キャンパスへ現在の市役所1階で行う手続や保健福祉センターで行う子ども関係の手続等を移転させることで、市民が寝屋川市駅前に来れば、移動をせずに多くのサービスを受けられる予定としている。

## Ⅱ 意見交換の内容

---



---

## 市長について

### 【市民】

政治家を志した理由を知りたい。

### 【市長】

高校生の頃、寝屋川市は赤字日本一になり全国でも注目をされた。当時、他市とまちの見た目は変わらないにもかかわらず、赤字と黒字のまちがあることに疑問を持ったことがきっかけで、自身がまちを立て直したいと考えるようになり、政治経済学部がある東京の大学へ進学した。24歳の時に寝屋川市で選挙があったが、年齢要件により被選挙権がなく立候補できなかったため、大学院への進学やアルバイトを経て、27歳の時に事務所を設立し、28歳で選挙に立候補し、寝屋川市議会議員になった。

### 【市民】

尊敬していた人物について

### 【市長】

上杉鷹山を尊敬しており、この人物は江戸時代の米沢藩を再興した名君である。現代の自治体と江戸時代の藩は似ており、藩士は税金をいただき、行政施策を進める点や終身雇用という点から現代の公務員と通ずるものがある。

上杉鷹山は税収を増やす取組を進めながら、集中的に経営資源を投入することで、1つずつ問題を解決していった結果、日本全国で大飢饉が起きた際には、備蓄米を放出し、危害を最小限に抑えるところまで財政を回復させた実績があり、市政を進める上での参考になると感じている。

また、「為せば成る 為さねば成らぬ何事も 成らぬは人の為さぬなりけり」という上杉鷹山の言葉があり、「成らぬは人の為さぬなりけり」の句を自身の座右の銘にしている。上手くいかないときに社会や経済、仲間等のせいにしては、自身が変わることができないので、どんな状況でも自身が変わり、何らかの対応を行うことでやり切ることができ、上手くいかない事は自身の責任だと常に自身に聞かせるための言葉としている。

## 観光施策について

### 【市民】

ロケ地勧誘や聖地巡礼を活用した観光施策の他市事例について新聞記事を読んだが、寝屋川市では観光施策は考えているか。

### 【市長】

緑や歴史などといった観光資源を保有している市でも、観光で成功しているまちは多くない。寝屋川市に観光で来ていただいた時のメリットを考えた時に、事業者支援につながる側面がある一方で、一過性のものに過ぎない可能性がある。

そのため、ベッドタウンである特徴を生かし、寝屋川市に居住いただく方が、財政効果は高いと考えている。単に、人口増加を目指すのではなく、市民生活を守るためには、課税世帯と非課税世帯のバランスが重要だと考えており、担税力のある子育て世代にターゲットを絞った取組を進めている。

寝屋川市の得意な分野で勝負をしていくことが経営学上有効だと考えており、ポイントに絞り、限られた資源を集中的に投下することで、転出超過を止めることにつながると考えている。

## 学生に求めることについて

### 【市民】

寝屋川市に住んでいる学生に求めていることはあるか。

### 【市長】

一つ目は、優れた教育や他市とは違うサービスを用意するので、寝屋川市に住み続けてもらいたい。

二つ目は、寝屋川市は大きな変化をしようとしているが、人材が不足しており、寝屋川市の職員も職業を選ぶ選択肢の一つにしてほしい。これまでは各自治体、横並びで施策を行ってきたが、ここ数年では寝屋川市が先行して施策を進めることが増えてきており、各自治体が本気で競争を始めれば、確実に市民サービスは向上すると考えている。競争の時代に飛び込み、寝屋川市から自治体の在り方を

経営として見せていきたい。

このような考えの中で、人の力はとても大きく、優秀な人材が欲しいと考えており、寝屋川市では、朝8時から夜8時までの間で自由な時間に勤務できるフレックスタイム制度や民間企業への転職や留学等、どのような理由で退職しても原則元の待遇で復職できる再チャレンジ制度もあるので、色々なチャレンジをしてみたい方はいいのではないかと思う。

採用試験についても、筆記試験を実施していたが、ディベートやコミュニケーションを重視する方式へ市長に就任直後から切り替えている。これまではミスをしたくない手堅い人材を選考するために筆記試験を採用していたが、公務員が得意なチェック業務等は将来的にAIに置き換わると考えているため、現在の人物重視の試験方式に変更した。

民間企業であれば、会社の利益が中心になるが、公務は自身が取り組む内容全てが誰かのためにつながるため、私はこの仕事がいいなと思っている。

また、市の業務は教育や福祉等、多くの分野の仕事があり、民間企業と違い、様々な分野の業務を経験することができるため、様々なチャンスがあると思っている。

## 公務員司書の募集について

### 【市民】

公務員司書の募集の数が少ないと感じるがいかがか。

### 【市長】

専門職は入庁後、異動が少なく、一度採用されると枠が空かないことから採用する枠は少なくなってしまう。寝屋川市では募集がなく、司書職員として募集する際に応募してもらえない。他市で募集があっても司書の数に対して枠が少なく、競争が激しいと感じている。司書のスキルを活かしながら、教育委員会の仕事に従事してもらうのも一つではあるが、司書単独での募集は現状難しい。司書の在り方については、検討課題にさせていただく。

## 自習室について

### 【市民】

寝屋川市の学力で一番になるという公約を掲げているのなら、気軽に自習ができる場所を増やしてほしい。

### 【市長】

自習室は用意をしていく予定をしている。もともと、中央図書館は大人図書館をコンセプトとして用意しており、今後、アドバンスねやがわ2号館(3階)のキャレル(駅前図書館)を改装して、自習・子ども・子育ての拠点を全部入れ込んだ新たな価値を提供する子ども専用図書館を作る予定にしている。設計の予算の変更も通ったので順次やっていき、今よりはるかに数を増やした自習室を用意する。

落ち着いて勉強してもらえそうな環境や、参考書、赤本など受験にかかわるような勉強ができるような本や参考書を含めて準備をする。制度設計をしているところなので待っててもらいたい。ただ、設計から工事をするとなら2年から3年の時間がかかってしまうのが大変申し訳ない。また、学力については、ディベート教育を取り入れるなど、「考える力」を育成する教育改革を行っている。

## メタバースの活用について

### 【市民】

メタバースが注目されているが、寝屋川市でも考えていることはあるか。

### 【市長】

寝屋川市に、メタバースまで一足飛びにできる土壌は整っていない。もう一段階手前でやるべきことがあるからそれをまずやっていく。

今、寝屋川市が考えているのは、駅前庁舎(旧電気通信大学駅前キャンパス)で、新たな行政サービスを提案したいと考えている。今までは手続をする際、様々な窓口で市民に動いてもらうことが当たり前だった。これを、今ある技術で市民の皆さんを動かさなくてもいいサービスができるようにしていき、寝屋川市が

くったサービスが他の自治体の標準になっていくようなことをやっていく。その次の段階でメタバースは出てくると考えている。仮想空間の方がやりとりしやすい、言いやすいことなど、親和性のあるものについては、有効に活用していく。だから、段階を踏んでいきたい。

## まちづくりについて

### 【市民】

大利元町のコインランドリーがレトロな感じで流行っているが知っているか。

### 【市長】

知らなかった。Xでよく出てくるのはレトロな萱島の銭湯に行ったとあげている方がいることは知っている。これから、レトロさを生かした萱島のまちづくりをやっていこうと思っている。

寝屋川市は寝屋川市駅、香里園駅、萱島駅、寝屋川公園駅の四つの駅がある。

就任前、香里園駅は比較的人気があり、若い子育て世代が住んでいて、駅前はお店も多いし活気がある。残りの三つの駅が課題だった。

寝屋川公園駅は、高齢化が進み、人口が減り、バスの本数が減り、駅前の大型のショッピングセンターが撤退して、金融機関が抜け、さらに人口が減るという負のスパイラルで寝屋川の中で人口減少が顕著なエリアだった。

寝屋川市駅は、乗降客数は京阪沿線の中で屈指の駅ではあるが、滞留人口はそれほど多くなく、萱島駅もシャッターが閉まっている店舗が少なくない。

寝屋川公園駅は二つの小学校と一つの中学校を一緒にした小中一貫校（望が丘小学校・中学校）を国立のオリンピックのメインスタジアムを作った世界的な建築家に設計を監修していただいた。今、寝屋川公園駅周辺が寝屋川の中で一番人口が増加しているエリアになった。

寝屋川市駅は、市民サービスのターミナル化で寝屋川市の首都として位置づけし、分散している公共施設を全部寝屋川市駅中心に集めてくる。中央図書館も利用者がいて、また、今後は駅前庁舎で、市役所の手続をしていくため、利用する手続が駅前でできるようになる。また、中央図書館と同じビルに生涯学習施設が

できる。さらにキャレルには、子ども専用図書館、子育ての拠点できて、同じぐらいの規模感となる。人の流れが、寝屋川市駅周辺に集まってくるようになる。

次は萱島駅。萱島駅は、レトロな雰囲気をもっと使ったまちづくりを進めていこうと思っている。

## 企業の誘致について

### 【市民】

ベッドタウンとして都市部に通勤するのもいいが、市に企業を誘致することで寝屋川市の学校で育ち、就職するまでの流れができると思うがいかがか。

### 【市長】

駅ごとにそれぞれの住んでいただきたいターゲットを定めたいと思っている。

香里園駅は特に利便性を求める若い子育て世代。スーパー、お店も大阪まですぐにいけるので、利便性を求める若い子育て世帯は香里園に住む。

寝屋川公園駅には同じ子育て世代のなかでも、生活にスタイルを求める、こだわりを持っているような方々に来ていただきたいと思っている。緑豊かな寝屋川公園や、優良な学校があり、交通の利便性もいい。

例えばIT企業であっても、都市部に集積するのは日本ぐらいで、海外に行くのと、ITの企業やベンチャーの企業は、郊外にオフィスを構えて通勤時間を短縮し、職住接近にする。

IT系の会社等、寝屋川にきていただき、緑と連動したようなオフィスを構えていただいて、豊かな生活、時間を使ってもらって生活のスタイルを求める人たちにきてもらいたいと思っている。

## 今後進めていきたい施策について

### 【市民】

今後押し進めていきたい施策はあるか。また、大学で政策提言をやっているが  
ありきたりな提言になりがちなので斬新な意見があれば聞きたい。

### 【市長】

常に分析してからしか政策は作らない。経営資源を最大化させるような提案を  
考える。どの街でもできるものではなくて、私が今やっているまちづくりは、駅  
それぞれの特性と、経営資源をいかに組み合わせさせていきながら、一番最大化がで  
きるような組み合わせ投資できるかという点を考える。まずその特有の課題の分  
析をする。

最も力を入れていくのは、若い子育て世代、担税力のある若い子育て世代を誘  
引するために、最も訴求力のある政策、教育環境、いじめの問題などに力を入れ  
ていく。

### トーク会参加者



## Ⅲ 参加者アンケート結果

---

Q1 あなたの性別をお答えください。

設問	人数	割合
男性	7人	77.8%
女性	2人	22.2%
答えたくない	0人	0.0%
合計	9人	100.0%

Q2 あなたのことを教えてください。

設問	人数	割合
高校生	4人	44.4%
大学生	5人	55.6%
高等専門学校生	0人	0.0%
大学院生	0人	0.0%
短期大学生	0人	0.0%
専門学校生	0人	0.0%
その他	0人	0.0%
合計	9人	100.0%

Q3 今回のイベントについてどこで知りましたか。(複数回答可)

設問	件数	割合
公共施設や学校にあるチラシを見て	2件	16.7%
市広報誌を見て	2件	16.7%
市ホームページを見て	1件	8.3%
市公式アプリを見て	0件	0.0%
家族・友人・知人から聞いて	5件	41.6%
X(旧:Twitter)を見て	0件	0.0%
その他	2件	16.7%
合 計	12件	100.0%

※ その他(学校のポスターを見てなど)

Q4 市長との意見交換について。(どれか一つ)

設問	人数	割合
満足	8人	88.9%
やや満足	0人	0.0%
ふつう	1人	11.1%
やや不満足	0人	0.0%
不満足	0人	0.0%
合 計	9人	100%

## Q5 トーク会の時間について。(どれか一つ)

設問	人数	割合
長すぎる	0人	0.0%
少し長い	0人	0.0%
ちょうど良い	4人	44.4%
少し短い	5人	55.6%
短すぎる	0人	0.0%
合計	9人	100.0%

## Q6 トーク会の開催曜日と開催時間帯は、次のどれが良いですか。(どれか一つ)

設問	人数	割合
平日の夕方(16時~18時)	1人	11.1%
平日の夜(18時~20時)	3人	33.4%
土日祝の午前中(10時~12時)	0人	0.0%
土日祝の午後(13時~16時)	1人	11.1%
土日祝の夕方(16時~18時)	1人	11.1%
土日祝の夜(18時~20時)	2人	22.2%
長期休暇(夏休みなど)の午前中(10時~12時)	0人	0.0%
長期休暇(夏休みなど)の午後(13時~16時)	0人	0.0%
長期休暇(夏休みなど)の夕方(16時~18時)	0人	0.0%
長期休暇(夏休みなど)の夜(18時~20時)	1人	11.1%
合計	9人	100.0%

Q7 今回のトーク会に参加して良かったと思いますか。(どれか一つ)

設問	人数	割合
とても良かった	8人	88.9%
良かった	1人	11.1%
ふつう	0人	0.0%
あまり良くなかった	0人	0.0%
良くなかった	0人	0.0%
合 計	9人	100.0%

Q8 今後もトーク会があれば参加したいと思いますか。(どれか一つ)

設問	人数	割合
ぜひ参加したい	7人	77.8%
都合がつけば参加したい	2人	22.2%
あまり参加したくない	0人	0.0%
もう参加したくない	0人	0.0%
合 計	9人	100.0%



**図書館探検 & 市長と若者トーク会 報告書（令和6年2月）**

寝屋川市 経営企画部 企画二課

〒572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号

TEL 072-825-2019(直通)

FAX 072-825-0761

URL <http://www.city.neyagawa.osaka.jp>

E-mail [kikaku02@city.neyagawa.osaka.jp](mailto:kikaku02@city.neyagawa.osaka.jp)